

2023年8月9日



## 中長期的なKPIの一部上方修正について

～地域を率先するサステナビリティ経営推進に向けて～

株式会社千葉興業銀行(頭取 梅田 仁司)は、中長期的なKPIの一部を上方修正しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行は『サステナビリティ』への取組みに関する基本方針のもと、2022年4月に開始した中期経営計画「幸せデザイン 絆プロジェクト2025」において中期経営計画最終年度および2030年度までの中長期的なKPIを設定し、サステナブルファイナンスの推進やCO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組みを進めております。2023年3月末時点において、中長期的なKPIのうちESG投融資・サステナブルファイナンスは累計実行額1,416億円(中計目標比94.4%)、CO<sub>2</sub>排出量の削減は2013年度比35.1%(中計目標達成)とそれぞれ順調に推移しております。

各地では、地球温暖化の影響による気温上昇や豪雨による激甚災害が増加しております。地球温暖化を防止するためにはCO<sub>2</sub>排出量の削減は必要不可欠であり、当行のみならず地域のみならずとも脱炭素を図っていくことが最優先であると考え、中長期的なKPIの中で脱炭素を推進していくにあたり重要な要素となるESG投融資・サステナブルファイナンスとCO<sub>2</sub>排出量削減目標を上方修正することといたしました。

当行は地域に根ざした金融機関として、環境課題・社会課題の解決に資する取組みをより一層推進し、地域の経済・産業・社会の持続的な発展・繁栄に貢献してまいります。

### 《当行の中長期的なKPI》

項目	修正前目標 (①:中計(2024年度)、②:2030年度まで)	修正後目標
ESG投融資・サステナブルファイナンス	① 1,500億円以上 ② 5,000億円	① 3,500億円 ② 1兆円
女性役職率	① 30%以上 ② 35%以上	変更なし
金融リテラシー教育参加人数	① 3,000人以上 ② 延べ1万人	変更なし
CO <sub>2</sub> 排出量の削減 ※対象はScope 1 + 2	① 2013年度比 35% 削減 ② 2013年度比 46% 削減	① 2019年度比 20% 削減 ② 2019年度比 48% 削減

以上